

半翅目(カメムシ類)

対応事項

被害概要は

虫にさされた、かまれた、かゆい

どこで

室内

いつ

夜間又は暗所でさされた

どこを

手、足、腕、首等体の露出部分をさされた

症状、状態は

しばらくして激しいかゆみ、激しい発赤と腫脹、ひどい時には水疱、リンパ腺の腫脹、発熱することもある。
ハスト・リクッチア症

周囲の環境

ネズミ、犬、猫、ニワトリ、小鳥がいる。

調査場所

昼間は、家具、木等の割れ目や隙間等乾いた所に黒褐色の汚点があるかを調査

虫の形態

成虫の体長は5~8mm、体は、未吸血時黄褐色、吸血時赤褐色。



主な発生時期

被害 6~9月

虫の習性等

原因虫

トコジラミ
(ナンキンムシ)

虫はささない、かまない

外、まれに室内

悪臭を発生
悪臭が衣類家具等に付着
不快感

山林、クズ、ハギ、フジ等のマメ科植物がある

クワ、イチゴ、クズ、クサギ等の植物がある

悪臭が発生している付近、植物の間、葉を調査

成虫の体長は4.5~5.7mm
体は黄褐色で光沢と黒色の細点刻あり



成虫の体長は14~18mm、体は暗褐色に黄褐色の斑紋あり



発生 9月~11月

通常は山中に生息しているが、秋になると越冬のため人家等の暖かい場所を求めて集団でおし寄せることがある。夜間灯火に集まる。

マルカメムシ

クサギカメムシ